



静岡県

ともに担い ともに築く <sup>ひと</sup> <sup>ひと</sup> 女と男の情報誌

# ねっとわあく

2010/10/10 Vol.57

女性と男性が一緒になってつくる静岡県の観光



小さな旅の風景から、新しいヒントが見つかるかもしれない。 天竜浜名湖鉄道

# 時代がつくる旅のカタチ 旅の変遷50年

社会の出来事／観光に関する出来事／インフラに関する出来事

近年、旅の在り方が大きく変わってきています。  
団体旅行・社員旅行は激減し、若者の海外旅行は1996年をピークに、  
10年間で半減(※)。一方、2008年には観光庁が設立され、「観光」が国策の目玉に据えられました。  
そんな中、今号では、男女共同参画を「観光」から考えたら、どんな可能性が拓けるかを探ってみました。  
楽しむだけの観光から、仕掛ける観光へ。  
どうやら、女性の感性と積極的な行動が静岡の観光を変える大きな引き金となりそうです。

※「ニッポンの海外旅行」山口誠 ちくま新書 2010.7.10

'87	'86	'85	'84	'83	'82	'81	'80	'79	'78	'77	'76	'75	'74	'73	'72	'71	'70	'69	'68	'67	'66	'65	'64	'63	'62	'61	1960
国鉄分割民営化	男女雇用機会均等法成立 沢木耕太郎『深夜特急』海外渡航者数500万人突破	つくば科学万博 プラザ合意 日航ジャンボ機墜落 東北・上越新幹線上野駅乗り入れ	雑誌『AB-ROAD』創刊	大韓航空機襲撃 おしんブーム 東京ディズニーランド開業	日航機逆噴射墜落 フルムーンの旅ブーム 東北・上越新幹線開業	『地球の歩き方』インド・ネパール編創刊 ※この頃からベンシヨンプーム	校内暴力 1億円拾得事件 ※この頃から海外への新婚旅行増加	東名日本坂トンネル事故 『交通公社のポケットガイド』創刊	日中平和友好条約 新東京国際空港開港	円高・1ドル200円を突破 外貨持ち出し枠の撤廃	ロッキード事件	沖縄国際海洋博覧会開催 山陽新幹線(大阪ー博多)開業	暴走族 ベルばら人気	第1次オイルショック 円・ドル変動相場制へ移行 雑誌『るるる』発売	札幌冬季オリンピック 沖縄返還 第2次ベビーブーム ※70年代前半に女性ファッション誌、旅行情報誌が相次いで創刊 山陽新幹線(大阪ー岡山)開業	環境庁発足 アンノン族ブーム ※70年代は「旅」の歌が流行	大阪万博 ウーマンリブ 三島由紀夫割腹自殺 国鉄コリスカバ!・ジャパン・キャンペン開始 ※この頃から家族旅行、グループ旅行増加 ジャンボジェット機就航	アメリカ・人類初の月面着陸 全共闘学生と機動隊衝突 東名高速道路全線開通	昭和元禄 3億円事件	公害対策基本法施行 EC、ASEAN発足	いざなぎ景気 ビートルズ来日	アメリカ・ベトナム戦争直接介入 日韓条約成立 日本航空「ジャルパック」発売 第1次海外旅行ブーム	東京オリンピック 海外渡航自由化 日本初海外観光バックツアー「ジャルパック」発売開始 東海道新幹線開通	アメリカ・ケネディ大統領暗殺 名神高速道路(栗東ー尼崎)開通	堀江謙一ヨットで太平洋横断	キャンペン「トリスを飲んでハワイへ行こう」(寿屋) ※60年代後半に70年代 会社や地域の団体旅行全盛期	『兼高かおる世界の旅』(TBS放送)開始 ※60年代前半に大手旅行会社が相次いで誕生

'10	'09	'08	'07	'06	'05	'04	'03	'02	'01	2000	'99	'98	'97	'96	'95	'94	'93	'92	'91	'90	'89	'88
ガンダム立像 静岡市に展示 『地球の歩き方 aucoi』創刊	デフレスパイラル 民主党政権誕生 ETC休日1,000円割引開始 富士山静岡空港開港	リーマンショックによる世界大不況 婚活ブーム 中国人富裕層の訪日観光客急増	観光庁発足 団塊世代の大量退職 円高へ転換	ライブドア事件 『AB-ROAD』休刊 観光立国推進基本計画策定 旅の安・近・短志向が強まる 日帰り旅行の増加	愛知万博 格差社会の拡大 ※この頃から「ツリーズ」の旅が人気 ※この頃からデザインナース旅館が人気 中部国際空港開港	道路関係4公団民営化 浜名湖花博 ニートが社会問題化 ※この頃からインターネットでの宿泊予約が普及 九州新幹線(八代ー鹿児島中央)開業	イラク戦争 韓流ブーム 女性の韓国旅行熱高まる 旭山動物園ブーム ビジットジャパンキャンペーン	サッカーW杯日韓共同開催 通貨ユーロの流通開始 観光立国行動計画決定	アメリカ・同時多発テロ ※この頃から「癒し」の旅が人気 ※この頃から旅館、ホテルの女性向け企画が増加 ※この頃から中高年層の登山ブーム ETC導入	祝日3連休法施行 雇用の流動化 東京ディズニーシー、ユニバーサルジャパン開業	パラサイトシングル増加 しまなみ海道開通	長野冬季オリンピック 郵便番号7桁制実施 明石海峡大橋開通	携帯電話・PHS普及が進む アムラーブーム ※この頃から温泉ブーム	阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件 IT本格化 海外旅行者数1,500万人を超える	日本人初女性宇宙飛行士誕生 関西国際空港開港	屋久島、白神山など国内観光地の世界遺産登録が進む	就職氷河期 成田第2ターミナル開港 湾岸戦争 ソ連崩壊 バブル崩壊	超円高1ドル100円台 東西ドイツ統合 大阪国際花博	海外旅行者数、年間1,000万人を超える OLの海外留学ブーム 学生の卒業旅行増加	昭和から平成へ ベルリンの壁崩壊 ODA世界第1位に 消費税導入 ※この頃からウインタースポーツ、マリンスポーツ人気 ※この頃からアウトドア、キャンプ人気	バブル経済 リクルート事件 ソウルオリンピック開催 国内各地のリゾート開発が進む 青函トンネル、瀬戸大橋開通	



女性も

# たのしむ観光×しかける観光

## アイデアで活かす旅の可能性



富士山静岡空港が開港し、静岡県への交通アクセスはより便利になりました。中国を中心に海外からの観光客も増え、県でも観光のさらなる活性化に力を入れています。そこで、日頃から観光と関わりが深い皆さんに、静岡県の観光をより魅力的なものにするためには、何が必要か？どうしたらいいか？を話し合ってもらいました。男女双方の視点から考えた、新しい観光のあり方とは？



### 豊富な観光資源をどう活かす？

**司会(編集員・西岡)**／皆さんは静岡県の観光の魅力は何だと思われませんか。

**稲葉**／静岡という言葉より、富士山、伊豆のほうが有名ですね。富士山に比べたら伊豆の知名度は低いし、浜名湖はさらに低い。そのあたり、静岡県の人と外部の人のギャップがとても大きいですね。

**原田**／やっぱり富士山でしょうね。私は愛知県の豊橋出身で、大学は静岡です。他県出身の友達の中には富士山に憧れて静岡の大学に来たという人が何人かいました。

**市野**／静岡県にしかない観光資源って何だろう、と突きつめていくと、温泉やお茶でなく富士山だと思っんです。ですから富士山の魅力を核にして、そこに何を加えていくか、と考えるのがいいと思います。また富士山以外で魅力のあるものをどうクローズアップしていくか。それを探ることも大切だと思います。

**原田**／歴史も大きな魅力ですよね。東海道沿いには多くの宿場があり歴史がある。徳川家康にゆかりのある地も多い。静岡には宝物がたくさんあると思いますが、埋もれたままの場所も多く、うまく活かされていない気がします。

### 古民家「大村邸」(座談会会場)



縁側カフェを開催する大村陽子さん

JR静岡駅から梅ヶ島温泉方面へ車を走らせること約50分、山間の静かな集落に、江戸時代後半から続く大村邸があります。縁側に腰をかければ、目の前に山々の緑が広がり気分爽快。毎月第1・3日曜には縁側カフェを開催し好評です。「ある時、見慣れた景色とこの茅葺き屋根の家を、街中の皆さんが貴重なものとして受け止めているということに気がきました。大間地区で住民が縁側カフェを開催して地域の活性化に一役買っている、という話を聞いていたこともあり、私も始めてみました」と大村陽子さん。利用料は500円で、前日までに要予約(農作業繁忙期は休み)、地元のお茶とお菓子で温かくもてなしてくれます。

■静岡市葵区平野 1052 TEL 054-293-2007



**坂野**／静岡県は観光資源が多すぎてうまく活かされていらないと思います。富士山にしても外国人の宿泊先の多くは山梨県です。静岡の人は「静岡側から見ると富士山がきれいだ」と言います。だったら、どこからどういうふうに見たら山梨側よりきれいなのかを、もっとしっかり説明し、それに沿ったルートや交通アクセスを整えるべきです。伊豆も同じです。いいものがたくさんあるのに、それをちゃんと伝えきれていない。中国人観光客のゴールドコースは関西空港から大阪に入り、京都、富士山、東京の秋葉原、ディズニランド、そして成田空港から帰るといったものです。

### 「見る」から「体験型」へ旅の目的が変化

**稲葉**／私の暮らす浜名湖エリアは、もともと観光資源が優れているわけではなく、観光地としての認知度は低いです。レジャーという点では、昔は自然資源の潮干狩りがセールスポイントで他県からもたくさん来ていましたが、今は競合のレジャー施設が増えたこともあり減少しています。

**司会**／集客のために何か対策はされているのですか。

**稲葉**／昔は浜名湖も熱海のように宴会型の旅行が中心でした。しかし、今はそれではやっていけない

なり、方向転換をはかっているところなんです。5年ほど前から着地型旅行(※P6キーワード集参照)に取り組んでいます。それまでは旅館組合が旅行を主催することは法律面で問題があったのですが、なんとかこの状況を打破したいと国交省にかけあい、観光圏整備圏の認定にこぎつけました。現在、宿泊客を対象に「遠州道中膝栗毛ツアー」を開催し、市民ガイドの案内で人気の施設や花の名所などを回り、年間約6000人の利用があります。

**司会**／集客に悩む県内観光地が、以前のような賑わいを取り戻すことはできると思われませんか。

**稲葉**／人気があるところはそれだけの努力と仕掛けをしています。不況でお客さんが旅行に使うお金が減っていると言われていますが、すべての観光地がそういうわけではなく、ちゃんと収益が出ている場所もあります。それが地域振興の目指すところだと思っています。

**市野**／交通アクセスの問題は大きいですね。例えば道が狭いと女性ドライバーが多いので、道路や駐車場の整備をしているところには人が集まります。また最寄駅からシャトルバスがあることも便利です。最近では観光の内容が変化しています。昔のようにあちこち見て回ることがなくなると、何かを体験するとか、温泉で



原田さやかさん

HARADA SAYAKA

写真家  
安倍奥の会代表

情報誌『するーらいふ』のカメラマンとして、地域の魅力を掘り起こすかたわら、自身でも山に通い写真を撮る。「安倍奥の会」を主宰し、静岡市葵区玉川地区の地域おこしに取り組む。



坂野真帆さん

SAKANO MAHO

株式会社そふと研究室代表取締役  
そふとプランナー

主な仕事は地域づくりやまちづくりのコンサルティング。地域の魅力発信の一つとして、着地型の旅行商品も企画している。特に力を入れているのが、茶農家と消費者をつなぐお茶のツーリズム。



稲葉大輔さん

INABA DAISUKE

ホテル鞠水亭専務取締役  
浜名湖えんため代表

浜名湖館山寺温泉旅館組合長としてイベントや観光振興業を通して地域をまとめ、情報発信を行う。「浜名湖えんため」の活動に力を注ぎ、型にはまらない多彩なプロジェクトを意欲的に仕掛けている。



市野純子さん

ICHINO JUNKO

上海ビジネスコーディネーター

上海に進出したい企業の市場調査や旅行のアレンジなどを行う。所属する地域資源研究会では志太地域の特産品を見直し、新しい名物の企画開発に取り組んでいる。